



第1回定例会質疑



第63号議案「訴えの提起」について

質問(つつみ) この議案は2008年に起った教員採用不正事件の国家賠償請求に関する判決について、福岡高裁へ控訴するため、県議会の議決を求める議案です。2月23日、大分地裁が2008年の教員採用取り消し事件に関して、教育委員会の採用取り消し処分について「非はもっぱら県教委側にある」として「慰謝料の取り消しについては違法」と明確に処分の取り消しと慰謝料33万円の支払いを命ずる判決に対し県教育委員会及び大分県は「福岡高裁に控訴する」「慰謝料の支払いは応じない」と真っ向から対立する方針を出し知事は今回の大分地裁判決をどう受け止めているのか、また教育委員長として、大分地裁の判決をどうとらえ、国家賠償法に基づく損害賠償判決について控訴が必要と判断するのにいたったのか答弁を求めました。



質問する つつみ県議

答弁(知事) 「大分地裁の判決では『行政長として事実関係等について慎重に調査・検討すべき義務がありながら職務上通常尽くすべき注意義務を尽くさなかった。』とされているが教育委員会では教育行政改革プロジェクトチームを編成し調査、事情聴取を行った。教育委員会は、可能な限りの事実関係の調査をしたものと認識している。したがって国家賠償請求については上級審の判断を仰ぐべきだ」と答弁しました。

答弁(教育委員長) 教育委員会では職務上尽くすべき注意義務は十分果たした。今回の判決はその内容が反映されていない。国家賠償請求に係る判決は教育委員会が控訴する旨を決定した取消処分の違法性を前提にしたものだから高等裁判所の判断を仰ぐべきではないかと考えたと答弁しました。

質問(つつみ) 「非はもっぱら県教委側にある」という判決は大変重いものがある。この判決に知事はどのように真摯に検討を加え議論をしてきたのか、教育長にはこの問題についてどう認識しているのか再度求めました。

答弁(知事) 当時教育委員会は出来る限りの調査をした。取り消し判断に対しては苦渋の決断でこうなると繰り返しました。

答弁(教育委員長) 非はもっぱら県教委側にあると言いながらも、職員の処分も行われた、この事態を解決するための手当でもなされてきた。二度とこんな事がおきないように全国一厳しい試験を行っている、県として責任を果たしている。ということで不正な加点のあった事がわかっている以上是正されなければならないと答弁しました。

質問(つつみ) 県議は加点をしたのは県教委にあるとしながら「誰が口利きをしたのか」「何の目的で行われたのか」等、真相解明ができてないのが問題だ。再度調査し直すべきだと強く求めました。

答弁(教育委員長) その当時出来る限りの調査をした、再度調査を試みてもあれ以上のものはでてこないと答弁しました。



住宅リフォームの助成について

質問(つつみ) 住宅リフォーム助成について、衆議員総務委員会で、日本共産党の田村貴昭議員が「住宅リフォーム助成制度は、今回の交付金事業でも適用になるのか」と質問したところ内閣府副大臣は「消費喚起効果があれば対象にすることは差し支えない。制度設計には工夫がいる」と答弁しましたが、県として現在の住宅リフォーム助成制度について、交付金事業を活用し一般的な住宅リフォームに対しても助成できる制度に拡充する事を検討すべきではないかと質問しました。



議会の様子

答弁(土木建築部長) 地域消費喚起型事業は、緊急的な取組みとして、直接消費に働きかけ、広く消費を喚起することを趣旨としており、1件あたりの金額が比較的高額となる住宅リフォーム助成への本交付金の活用は、馴染まないと考えたと答弁しました。

質問(つつみ) 地方自治体が自由にいろいろ計画できる。これに充当するという方向でも検討を加えるべきだと思う。部の中では議論をしたのか、また住宅リフォーム助成制度の経済効果についての認識を再度質問しました。

答弁(土木建築部長) 今回緊急的な取組みで今年度補正予算限りであり、リフォーム自体が高額になるということで公平性に問題があり交付金を充てるというのは国においても望ましい事ではないと記載がある。一定の経済効果はあるが地域消費喚起型事業は広く消費を喚起する目的であるので全県下に一般的なリフォームを支援するのは馴染まないと答弁しました。

質問(つつみ) 馴染ませる努力を県はしなければならない。国が推奨でなくても住宅リフォームについて工夫していく、検討していくという姿勢を強く要望しました。



平成27年度大分県一般会計予算について



質問(つつみ) 今回の当初予算には、企業立地促進事業費等に6億800万円、工業団地開発推進事業費に21億1,500万円が計上されています。この中でも日田キャノンに2億円の補助金が計上されています。1996年の大分県立地盤整備補助金をはじめ、各補助を合計すれば2014年までで約160億円にも上ります。このうちキャノン関係だけでも74億2,195万円に上り、実に46%を占めています。この件について、私は当時議会で厳しく指摘をしましたが、用地造成を巡っての巨額脱税事件や西日本最大規模の派遣切りを引き起こすことに繋がりました。

企業立地を促進するのであれば、まずは県の姿勢として、立地協定書に正規雇用を明記すべきであります。大分県で安心して働き、生活し、子育てする為に正規雇用を増やしていくという姿勢に立つべきと考えますが、答弁を求めました。

答弁(知事) 雇用対策について、企業誘致をし、雇用機会を拡大する事は、県経済の成長を図り、地域を活性化うえで最も重要な政策だと思う。正規雇用の創出は言うまでもなく大切です。企業へは訪問等の際に可能な限り正規雇用とするよう繰り返しお願いしているところです。引き続き、企業誘致を推進することにより雇用機会を拡大するとともに、地域産業の活性化や県経済の発展に取り組んでいくと答弁しました。

質問(つつみ) これに対しつつみ県議は県全体の雇用の状況を見ると2002年から2012年までの10年間の総雇用者数は588,600人から571,300人に減少している。特に第2次産業は157,500人から138,100人その内、正従業員は106,900人から91,100人に減少している。その間派遣や契約社員が13,000人から81,000人に増加している。それがこの10年間の大分県の雇用の状況です。常用雇用は正規雇用は基本的に違います。立地協定書の中に正規雇用と明記させることが企業として働く方々の正規という働き方ができていくと思う。きちっと正規雇用を立地協定書の中に記入させるべきだと再度質問しました。

答弁(知事) 正規雇用ができればその方が良いとしながら「何が何でも正規雇用と言うのではなくて私はそうじゃない方が良いという働き方を選ぶ方もいる。なんでも正規雇用じゃなければいけないということではない」と答弁しました。

質問(つつみ) 常用雇用ではなく正規雇用にするということが重要な事。今、国会の方では労働者派遣法だとか労働基準法の改悪等によって生涯派遣やただ働きを推進する高度プロフェッショナル制度の導入を計画している。大分県で働く方々の雇用も非常に不安定になってくると思うので国に対してそういう改悪を実施しないように強く求めるべきだと訴えました。



H26/12/8 福祉保健委員会



1/28 ユレルンダー体験



2/7 政党助成金廃止の該当宣伝



2/14 埴栄三県議をかこむ集いにて



2/25 日出生台演習場正面ゲート前で要望書提出



3/8 「3・11いのちのわ」集いにて



3/22 幸崎駅にて地域からの要望書をお届け

議案等の採択状況

議案

	自由民主党 大分県議団	県民クラブ	自由民主党	公明党	日本共産党
平成27年度大分県一般会計予算	○	○	○	○	×
平成27年度大分県流通業務団地造成事業特別会計予算	○	○	○	○	×
平成27年度大分県臨海工業地帯建設事業特別会計予算	○	○	○	○	×
平成27年度大分県港湾施設整備事業特別会計予算	○	○	○	○	×
平成27年度大分県工業用水道事業会計予算	○	○	○	○	×
特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の部改正について	○	○	○	○	×
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備について	○	○	○	○	×

請願

	自由民主党 大分県議団	県民クラブ	自由民主党	公明党	日本共産党
由布市塚原和牛共進会跡地におけるメガソーラー事業に関することについて	○	△	○	○	○
大分県での子ども医療費助成制度の拡充を求めることについて	×	○	×	退席	○
国の子ども医療費無料制度の創設を求める意見書の提出について	×	○	×	退席	○

議員提出議案

	自由民主党 大分県議団	県民クラブ	自由民主党	公明党	日本共産党
国の子ども医療費無料制度の創設を求める意見書	×	○	○	退席	○

請願

国の責任で35人学級の推進を求める意見書の提出について

継続請願

四国電力伊方原子力発電所再稼働に反対する意見書の提出について

} 審議未了

2015年第1回

日本共産党 大分県議団・県政報告

大分市大手町3-1-1 県庁舎新館 3F

日本共産党大分県議団

県政に対するご意見・ご要望・ご提案、情報提供、県政報告をお読みになったご感想などをお寄せ下さい。

TEL/FAX.097-537-2344 [E-MAIL] jcp-oita@oct-net.ne.jp ホームページ <http://www.oct-net.ne.jp/~jcp-oita/2010/>